

## 令和4年度 指定管理者年度評価シート

## 1 基本情報

施設名称	大阪市長居障がい者スポーツセンター・大阪市舞洲障がい者スポーツセンター
施設所管課・担当	福祉局障がい者施策部障がい福祉課（担当：安田・柏倉）
条例上の設置目的	障がい者に対し、スポーツ及びレクリエーション活動の機会を提供するとともに、障がい者のスポーツに関する講習会等を開催することにより、障がい者の自立と社会参加を促進し、もって障がい者の福祉の増進に寄与することを目的とする。
業務の概要	<p>(1) 障がい者スポーツセンターの運営業務</p> <p>ア 障がい者に対する各種スポーツ及びレクリエーション活動の機会の提供</p> <p>イ 障がい者のスポーツに関する各種講習会の開催その他障がい者のスポーツの指導</p> <p>ウ 障がい者のスポーツの振興を担う人材の育成</p> <p>エ 障がい者のスポーツに関する普及啓発等</p> <p>(2) 建物及び付属設備の維持保全に関すること</p> <p>(3) その他障がい者スポーツセンターの管理に関すること</p>
成果指標	利用者満足度／新規利用者数
数値目標	80%以上／600人以上
指定管理者名	社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

## 2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者満足度	新規利用者数
数値目標	80%以上	600人以上
年度実績	92.2%	1,399人
達成率	115.3%	233.2%

## 利用状況

## (1) 大阪市長居障がい者スポーツセンター

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	127,787人	60,429人	67,358人

※ 令和3年4月25日から6月20日まで緊急事態宣言の発出に伴い臨時休館

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から施設の利用制限を実施

## (2) 大阪市舞洲障がい者スポーツセンター

## ア スポーツ施設

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	85,315人	49,436人	35,879人

※ 令和3年4月25日から6月20日まで緊急事態宣言の発出に伴い臨時休館

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から施設の利用制限を実施

## イ 宿泊研修施設

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	9,937人	4,723人	5,214人
稼働率	21.6%	11.4%	10.2%

※ 令和3年4月25日から6月20日まで緊急事態宣言の発出に伴い臨時休館

※ 稼働率について、宿泊室の客室稼働率を記載

## 令和4年度 指定管理者年度評価シート

## 3 収支状況

(単位：円)

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因	
受託事業収入	実績	654,170,509	649,707,955	4,003,509		
	計画	650,167,000	650,686,000			
業務代行料収入	実績	650,289,298	642,475,000	7,814,298	エネルギーコストの高騰の補填に伴う業務代行料収入の増	
		計画	642,475,000			642,475,000
	実績		3,700,526	7,018,665	△ 3,426,474	自主事業支出の減少に連動する収入の減
		計画	7,127,000	7,713,000		
	その他の収入		実績	180,685	214,290	△ 384,315
		計画	565,000	498,000		
経常経費寄附収入	実績	372,770	234,318	372,770	寄附の申出に伴う収入の皆増	
	計画	0	0			
その他の収入	実績	25,745,182	11,780,329	△ 12,469,818		
	計画	38,215,000	53,266,000			
受入研修費収入	実績	35,000	80,000	35,000	実習生の研修受入に伴う収入の皆増	
		計画	0			0
	雑収入		実績	228,544	220,237	206,544
		計画	22,000	12,000		
	宿泊研修室利用料金収入	実績	22,186,500	9,423,200	△ 13,393,500	新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数の減少に伴う収入の減
		計画	35,580,000	50,000,000		
	自主事業収入	実績	3,295,138	2,056,892	682,138	
		計画	2,613,000	3,254,000		
拠点繰入金収入	実績	190,000	190,000	0		
	計画	190,000	190,000			
合計	実績	680,478,461	661,912,602	△ 8,093,539		
	計画	688,572,000	704,142,000			

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因	
人件費支出	実績	288,040,410	280,892,757	△ 9,723,590		
	計画	297,764,000	275,146,000			
スポーツ施設部門	実績	276,964,615	272,084,375	△ 3,016,385	職員の配置変更に伴う人件費の減	
		計画	279,981,000			274,002,000
	宿泊研修室部門		実績	11,075,795	8,808,382	△ 6,707,205
		計画	17,783,000	1,144,000		
事業費支出	実績	142,282,598	104,337,518	△ 16,407,402		
	計画	158,690,000	164,783,000			
スポーツ施設部門	実績	139,307,442	101,566,174	△ 12,047,558	新型コロナウイルス感染症の影響による事業中止等に伴う事業費の減	
		計画	151,355,000			155,772,000
	宿泊研修室部門		実績	2,119,271	572,048	△ 3,597,729
		計画	5,717,000	5,800,000		
	自主事業部門	実績	855,885	2,199,296	△ 762,115	
		計画	1,618,000	3,211,000		
事務費支出	実績	225,262,402	251,048,180	14,406,402		
	計画	210,856,000	242,000,000			
スポーツ施設部門	実績	211,527,281	242,867,720	19,365,281	エネルギーコストの高騰に伴う光熱費の増	
		計画	192,162,000			193,444,000
	宿泊研修室部門		実績	8,798,033	3,361,397	△ 2,954,967
		計画	11,753,000	42,700,000		
	自主事業部門	実績	4,937,088	4,819,063	△ 2,003,912	新型コロナウイルス感染症の影響による事業中止等に伴う事業費の減
		計画	6,941,000	5,856,000		
拠点繰入金支出	実績	23,804,771	23,968,548	3,402,771		
	計画	20,402,000	20,658,000			
スポーツ施設部門	実績	23,690,360	23,738,888	3,936,360	法人運営費分担金の増に伴う繰入額の増	
		計画	19,754,000			19,957,000
	自主事業部門		実績	114,411	229,660	△ 533,589
		計画	648,000	701,000		
予備費	実績	0	0	△ 860,000	予備費の皆減	
	計画	860,000	1,555,000			
合計	実績	679,390,181	660,247,003	△ 9,181,819		
	計画	688,572,000	704,142,000			

## 令和4年度 指定管理者年度評価シート

## 4 管理運営状況の評価（1次評価）

## (1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	115.3%	A	利用者サービス向上に努め、目標を上回る満足度となったことから、左記の評価とする。
新規利用者数	233.2%	S	情報発信の強化に努め、目標を大幅に上回る新規利用者数となったことから、左記の評価とする。

## (2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
ペーパーレス化の推進、資源ごみの有償回収、空き缶・ペットボトルの無償回収依頼の実施、利用団体のごみの持ち帰りの協力依頼、照明設備のLED化等を行った。	B	-

## (3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設定目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	-
事業計画の実施状況	A	様々な利用者ニーズへの柔軟な対応など、サービス向上に取り組むほか、コロナ禍の状況を踏まえ、自宅でも気軽に運動ができるよう動画をホームページに公開するなど、積極的な情報発信に努めたことから、左記の評価とする。
施設の有効利用	B	-
社会的責任・市の施策との整合性	B	-

## 5 利用者ニーズ・満足度等

## (1) 調査方法

施設利用者に対して、アンケート調査を実施（用紙回答又はWEB回答）

## (2) 回答者数 446人

長居障がい者スポーツセンター：272人

舞洲障がい者スポーツセンター：174人

## (3) 質問項目

ア 基本属性（障がいの有無、種別、年代、居住地等）

イ 障がい者スポーツセンターの利用状況等

ウ 障がい者スポーツセンターに対する評価等

エ 自由意見

## (4) 結果

- 障がい者スポーツセンターを利用する理由として、「障がい者専用の施設だから（長居65.6%・舞洲79.4%）」、「利用料金が無料または少額だから（長居54.4%・舞洲50.0%）」が多い。
- 障がい者スポーツセンターを利用してよかったこととして、友人が増えた、ストレスが減った、身体の調子が良くなった、運動が好きになった、行動範囲が広がったなど、利用者により様々であり、後述の施設の満足度が高い状況を踏まえると、指定管理者は施設の設定目的の達成のため、利用者のサービス向上に努めている。
- センターの満足度について、専門性の高い指導員を配置し、障がいの種別やニーズに応じたスポーツ指導をはじめ、各種教室や事業などに取り組み、センターのサービスに関する満足度（長居89.2%・舞洲95.2%）は非常に高い。
- その他、利用者からは、わかりやすい情報の発信、職員の接遇及び設備面の改善などに関する意見などがあつた。引き続き、利用者のニーズを把握しながら改善を図り、サービスの向上に努める必要がある。

## 6 外部専門家意見

- コロナ禍においても、新規利用者の確保、身近な地域でスポーツに親しむことができるよう出張スポーツ・レクリエーション事業、障がい者スポーツ振興を担う人材育成のほか、利用者へのサービス向上など、取組が評価できる。
- また、施設の適切な管理運営に努めており評価できる。
- 職員の意識・知識・技術の向上のほか、質の高いサービスが提供できるよう、様々な研修の実施に取り組んでいることは評価でき、今後は、障害者差別解消法における合理的配慮の提供に関する研修の実施に努められたい。

## 令和4年度 指定管理者年度評価シート

## 7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	コロナ禍においても、利用者サービス向上・新規利用者獲得に努め、目標を上回る成果を得ている。
市費の縮減	B	ペーパーレス化の推進など、適正な市費の削減に努めている。
管理運営の履行状況	B+	施設の適切な管理運営に努めている。また、施設外での出張スポーツ・レクリエーション事業、障がい者スポーツ振興を担う人材育成のほか、職員の意識・知識・技術の向上に向けた研修を行うなど、多方面から高いサービスの提供に取り組んでいる点は評価できる。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	概ね事業計画が達成できており、総合的に評価できる。